

研究の ハイライト

プロジェクト研究を通じて社会に貢献する

研究企画経営会議主査

宇高義郎

工学研究院では2001年度の大学院部局化時に企画経営会議が研究院長の諮問会議としておかれ、この元で研究企画経営会議により工学研究院あるいは全学にわたるプロジェクト研究などの分野横断的な研究の企画検討が行われてきています。特に、近年の国立大学の法人化に伴って、教育、研究に加えて第3の大学の使命として社会貢献を行うことが重要になってきております。そのような時代の流れの中で、工学研究院ではいち早く工学研究院内の研究資源を有効に活用し社会貢献を促進する目的で、異分野の研究交流を主とする4研究テーマからなる「学際プロジェクト研究」を立ち上げました。いずれも次の時代を切り拓く夢とそれを実現する可能性を秘めたプロジェクトであり、本冊子にそれぞれの主要な活動内容を記しました。

本年度は、それらの学際プロジェクト研究の3年後の中間評価を、当初の計画に基づき実施しました。社会のより客観的な意見を取り入れるため、各プロジェクトテーマに関して造詣の深い学外の専門家と研究企画経営会議のメンバーからなる評価委員会により、まる1日をかけて評価会を行いました。ここではそれぞれの研究の発表やそれに対する活発な討論が行われ、その結果、いずれのプロジェクトに対しても高い評価をいただくことができました。現在の学際プロジェクト研究は2006年度に完了し、2007年度からは第2期学際プロジェクト研究が実施に移

される予定です。これを機会に、ますますの異分野融合研究を活性化することにより、研究院の活性度をアピールするとともに社会への貢献を進めたいと考えています。

また、2002年に文部科学省の21世紀COEプログラムに採択され、また現在の学際プロジェクト研究の一つの「情報通信技術に基づく未来社会基盤創成」の継続的な発展と外部機関との連携による「横浜国立大学未来情報通信医療社会基盤センター（略称；医療ICTセンター）」が全学組織として設立されました。医療情報通信技術の益々の発展が期待されています。さらに、本学と横浜市立大学との間で21世紀COEのテーマからなるCEL（Communication, Environment, Life Science）シンポジウムあるいは実装技術シンポジウムなどの研究活動が展開されました。

工学研究院では、今後とも、従来からの大学の使命である自律的で自由な個人研究を継続してゆくとともに、社会貢献を目指したプロジェクト研究の充実を目指してまいります。さらに、他にも現在、大型の外部資金を得て研究推進中のプロジェクトが多数あり、その一部をこの研究ハイライトの最後に掲載いたしました。また、工学研究院所属の全教員の研究情報は、大学のwebsite内の研究者総覧 <<http://kenkyu-web.jmk.ynu.ac.jp/Scripts/websearch/top.htm?lang=ja>> でご覧いただけます。